

北海道大学 様

文献管理ソフトEndNote講習会 基本機能と新機能のご紹介

EndNote 2025

デスクトップ版

操作デモは「EndNote2025 for Windows」を使用いたします。

ウェビナーは視聴を前提としているため、情報が多く、スピードが速いです。
資料と録画をご用意いたしますので、あわせてご活用いただけますと幸いです。



私たちは知の創造・蓄積・共有を通じて社会に貢献します。

ユサコ株式会社



本日のご説明内容

1. EndNoteの3つの基本機能 (文献情報の収集・管理・引用リストの作成)

2. 最新版のEndNote2025の新機能について (AI機能、Web of Scienceとの連携)

3. 操作のデモンストレーション

- ・ PubMedや医中誌Web、WoSからEndNoteへ文献情報をインポートする方法(数十～数百件取り込む方法)
- ・ 重複文献の同定・削除方法
- ・ 文献リストの共有方法 (共同研究・指導教員との共有)
- ・ タグ・フォルダ機能の活用法 (疾患別・研究テーマ別等の整理)
- ・ Wordとの連携、引用スタイルの切り替え方法(プレーンテキストにする方法)
- ・ PDF取得時の注意点

4. EndNoteのウェブ版とデスクトップ版の違い

5. ユサコの安心サポート & 無料トライアルのご紹介

6. Q&A

EndNoteの基本機能



-USACO®
PROGRESSIVE CHANGE IS OUR WAY OF LIFE

EndNoteでできること：3つの基本機能

1. 収集

Web of Science

医中誌Web
Japan Medical Abstracts Society

CiNii

PubMed
www.p



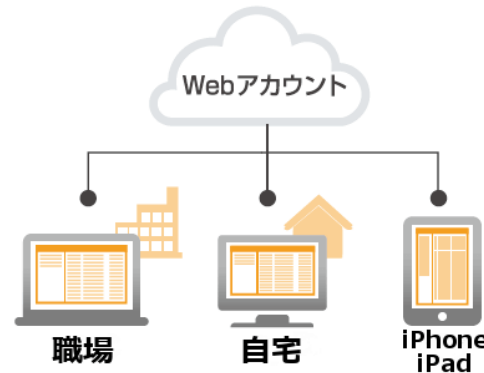
学術データベースから文献情報を取得
フルテキストPDFからインポート



文献情報をカンタンに取り込み・保存

2. 管理

閲覧・検索 グループ分け
編集・メモ PDF管理
PDF自動ダウンロード



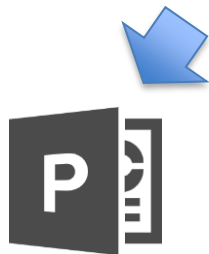
自分専用の文献データベース構築
いつでもどこでもアクセス



必要な情報がすぐ見つかる

3. 出力

EndNote



参考文献リストを自動で作成・変更

ジャーナルフォーマット形式は8,000種類以上

1. Bonnett, C., et al., *Preventing Radial Artery Occlusion by Using Reverse Barbeau Assessment: Bringing Evidence-Based Practice to the Bedside*. Crit Care Nurse, 2015. 35(4): p. 77-82.

使用フローのイメージ

1. 収集



Web of Science™

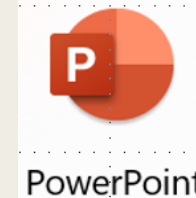
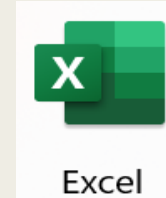
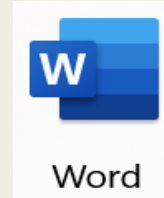
CiNii Research

Google Scholar

EndNote
EndNote Click

2. 管理

- マイライブラリ内で整理



3. 出力

- 論文投稿
- 業績管理
- 学会発表



EndNote 2025の新機能



-USACO®
PROGRESSIVE CHANGE IS OUR WAY OF LIFE

EndNote 2025の主な新機能

1. AI Key Takeaway
AIが論文の要点を抽出
2. Find a Journal in Cite While You Write
新しい投稿ジャーナル推薦機能
3. Cite from a PDF
PDFから直接引用
4. Web of Scienceとの連携強化
Web of Science上の文献データに簡単にアクセス可能
※別途Web of Scienceの機関契約が必要です。
5. Chat with Document 2025年9月24日より追加
AIとチャット形式で対話する機能(質問と要約)
6. Translate PDF 2025年9月24日より追加
PDF全文または指定した一部を翻訳する機能

[EndNote 2025 新機能の詳細はこちら](#)

新機能 : AI Key Takeaway

AIが論文の要点を抽出

The screenshot displays the RS.USACO web application. On the left is a sidebar with navigation options like 'All References', 'Retractions', and 'MY GROUPS'. The main area shows a list of references and a selected PDF titled 'Current State of Wilson Disease Patients in Ce.PDF'. A red box highlights a 'Key Takeaway' sidebar on the right, which contains a summary of the paper's main points and a list of additional topics discussed.

Key Takeaway

To minimize delayed diagnosis in Wilson disease, ceruloplasmin determination and ATP7B analysis are recommended for patients showing hepatic damage of unknown etiology, along with compliance education and emotional care to prevent suicide.

Additional topics discussed in the document are:

- Wilson disease management
- Psychiatric implications in liver disease
- Gene diagnosis and its impact on treatment

(Generated from PDF)

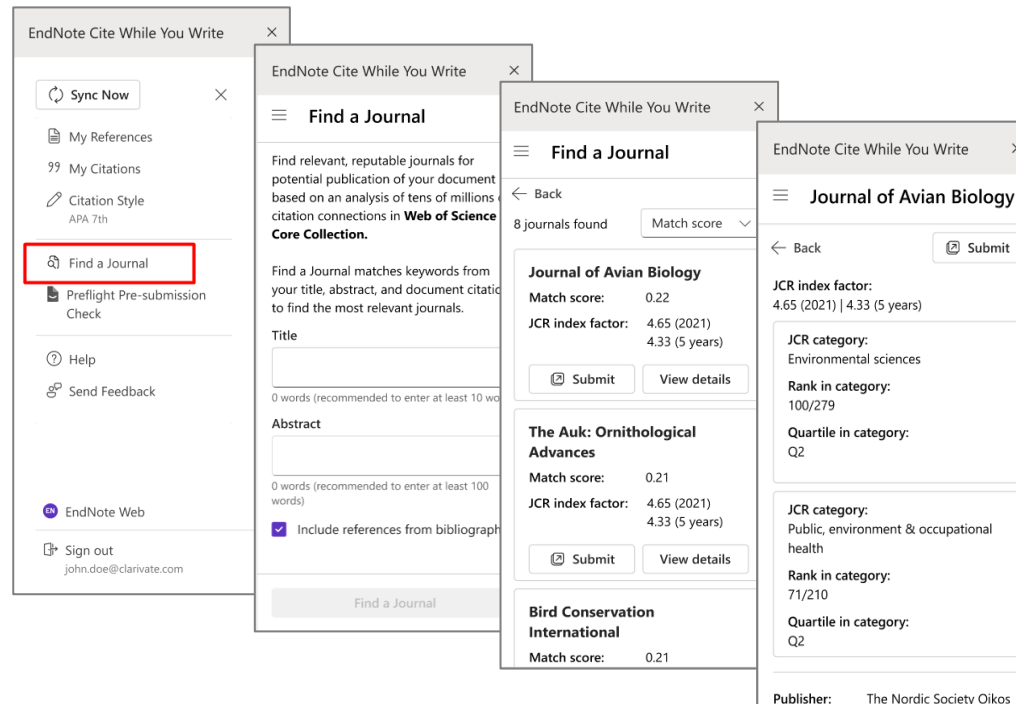
生成AIが論文から重要なポイントや要点を自動抽出。個々の論文PDFから主要な洞察や要点を抽出することで論文の内容を短時間で把握し、文献調査の時間節約をサポートします。ご自身の研究テーマとの関連性も素早く判断できます。

AI Key Takeaway で論文PDF の主要なポイントを自動で抽出しよう :

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/en2025-ai-key-takeaway.html>

新機能 : Find a Journal

新しい投稿ジャーナル推薦機能



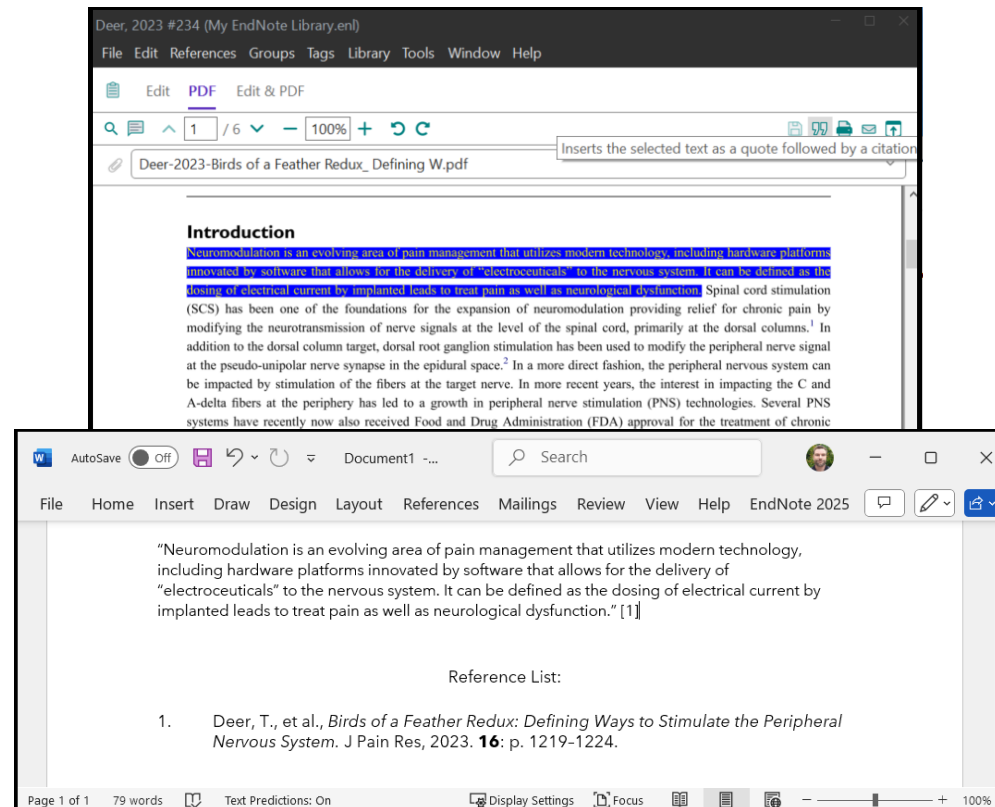
Cite While You Write プラグイン内で利用可能な機械学習ツールで、論文に最適なジャーナルを提案します。論文投稿プロセスにおいて、適切なジャーナルを効率的に見つけるのに役立ちます。

EndNote 2025 新機能 : Find a Journal で最適な投稿先ジャーナルを探そう :

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/en2025-find-a-journal.html>

新機能 : Cite from a PDF

PDFから直接引用



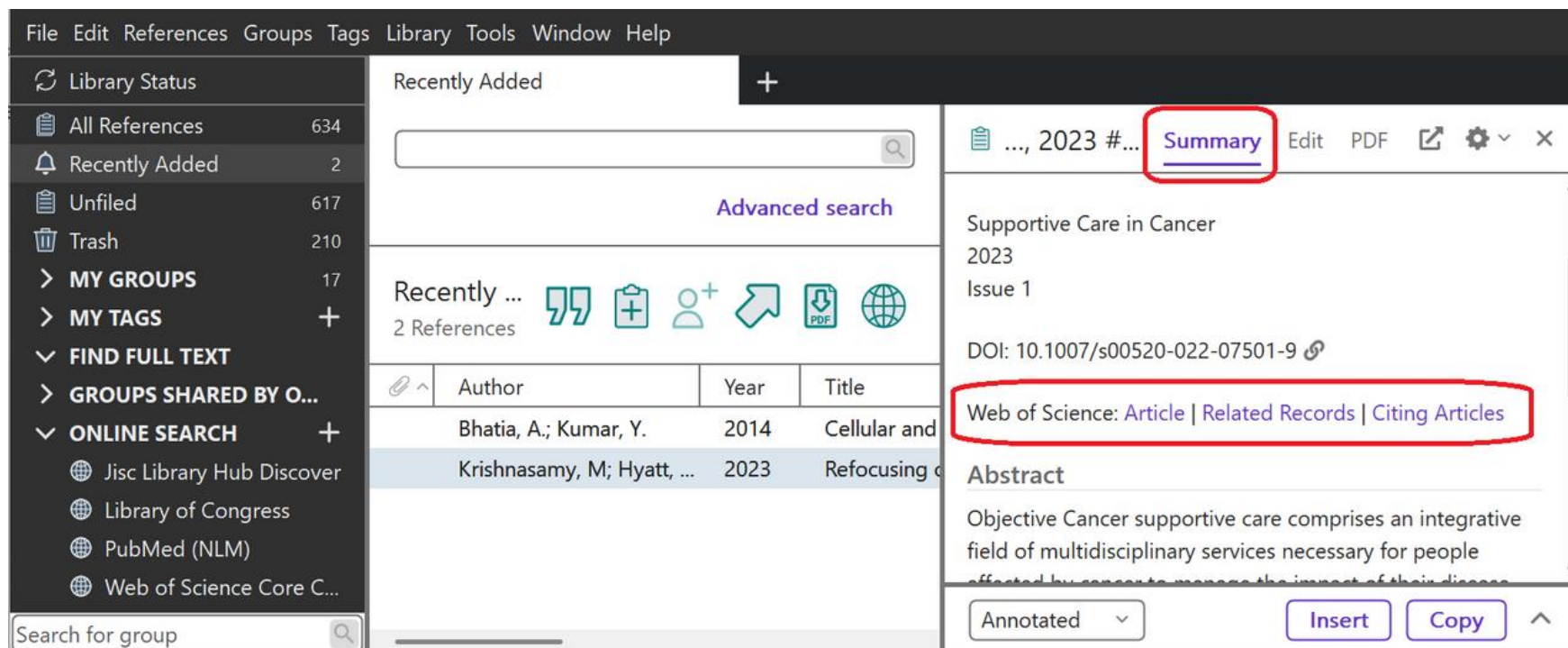
参考文献（PDF）につけた強調表示とその参考文献の引用をボタンをクリックするだけで作成中の論文に挿入できます。PDFを直接参照しながら執筆する際の引用作業が大幅に効率化されます。

EndNote 2025 新機能 : Cite from a PDF 機能で論文執筆を効率化しよう :

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/en2025-cite-from-a-pdf.html>

新機能：Web of Scienceとの連携強化

Web of Science上の文献データに簡単にアクセス可能になりました



Article：選択している文献の詳細を Web of Science 上で表示します。

Related Records：選択している文献と関連性があると思われる文献を一覧表示します。

ここでいう「関連性」は、「選択している文献が引用しているのと同じ文献を引用に使用しているか」で判断します。

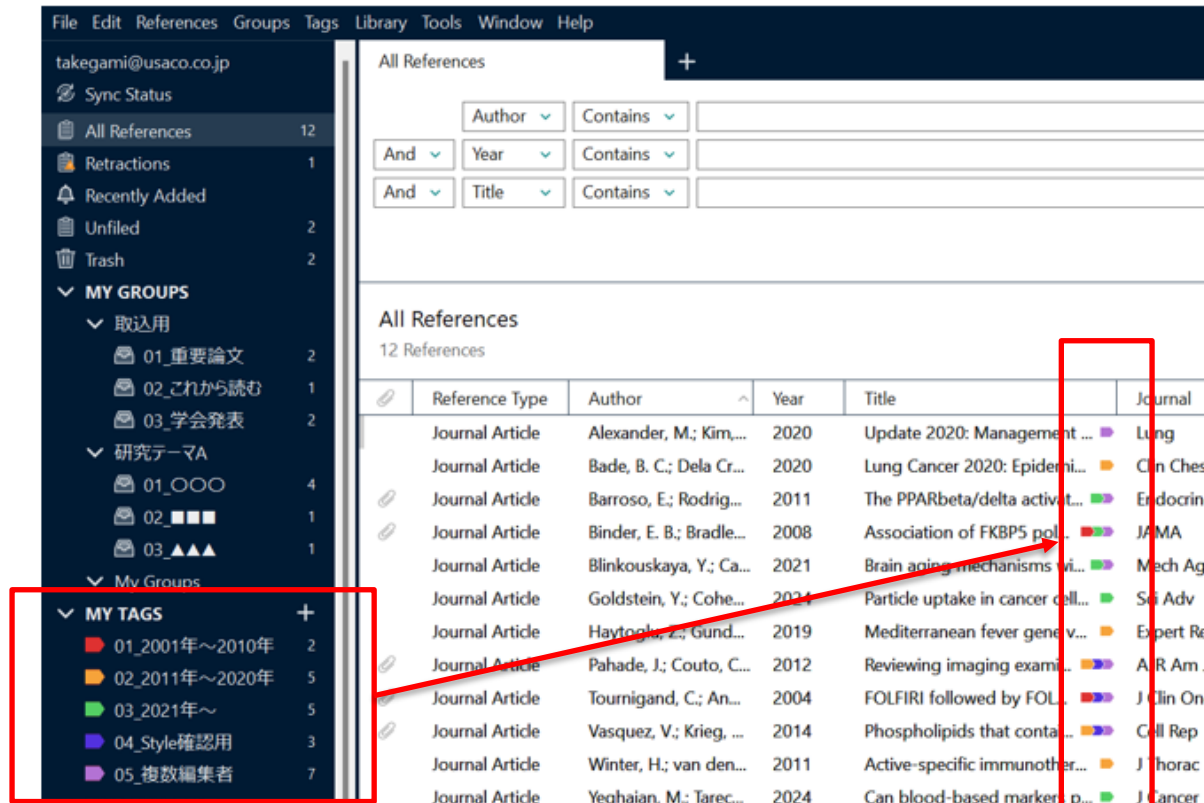
Citing Articles：選択している文献を引用に使用している文献を一覧表示します。

Web of Science 簡単アクセス機能で論文情報を深掘りしよう

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/en2025-wos-easy-access.html>

EndNote 21からの新機能：タグ機能

7種類のカラータグで文献管理が更に便利に！



様々なタグを使用し、ご自身のライブラリやグループ内のレファレンスをより分かりやすく整理することができます。

また、ライブラリに収録（保存）したレコードにタグを付け、グループとは別に文献を分類することができます。

- ◆ タグは 1 つのライブラリに対して 5,000 個まで作成することが可能。
- ◆ 上記 5,000 個の範囲内で、1 つのレコードに付けることができるタグの数は無制限。
- ◆ レコードにカラータグをつける方法：

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/quick-reference/21/035.html>

操作のデモンストレーション

1. PubMedや医中誌Web、WoSからEndNoteへ文献情報をインポートする方法(数十～数百件取り込む方法)
2. 重複文献の同定・削除方法(文献情報の更新→条件設定→削除)
3. 文献リスト(文献情報)の共有方法（共同研究・指導教員との共有）
 - ・ EndNoteのフォルダの共有、Word上の参考文献リストの共有
4. タグ・フォルダ機能の活用法（疾患別・研究テーマ別等の整理）
 - ・ スマートグループ機能
5. Wordとの連携、引用スタイルの切り替え方法
(プレーンテキストにする方法)
6. Find Full Text機能とPDF取得時の注意点
7. Chat with your document
AIとチャット形式で対話する機能(質問と要約)
8. Translate your PDF
PDF全文または指定した一部を翻訳する機能

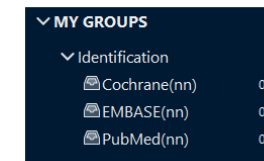
グループ機能を使って文献を管理

グループ機能を使うメリット

- ・ タグ付け感覚で簡単にグループ分けが可能
- ・ 必要な論文を分かりやすく分類でき、すぐに見つけることが可能
- ・ テーマやプロジェクトごとに分けて、混同せずに管理が可能
- ・ 文献を自動で振り分けることで、手作業の時間を削減可能

◆ グループセットを作成

グループセットは複数のグループを収納する大きなグループです。
グループセットが「親」でその中に置くグループが「子」になります。



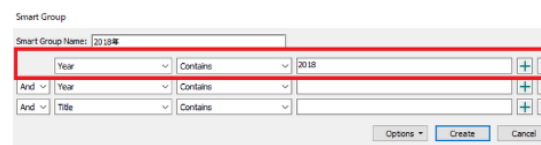
◆ スマートグループについて

条件を設定した上で自動的にレコードを振り分けられる設定です。
新しくインポートした文献レコードも自動的に振り分けられますので、一度設定しておくで便利です。

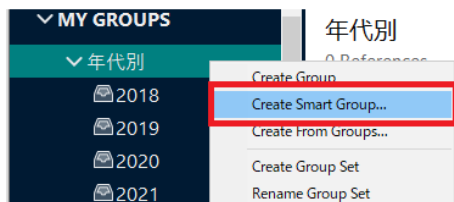
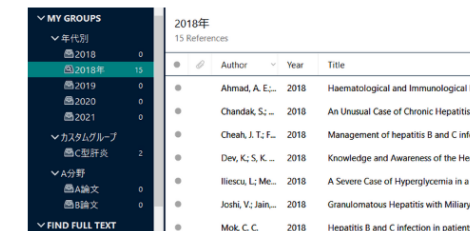
【作成方法】

①グループセットにカーソルを合わせて右クリックし、「Create Smart Group」をクリック。
設定ボックスにてグループ名を入力、振り分け条件を設定し、「Create」をクリックするとスマートグループが作成されます。

② 例：仕分け条件を「2018年」の文献にする場合



③ ライブラリ内のレコードが自動的に振り分け



重複削除の為の設定(文献情報の更新)

複数のデータベースから取り込んだ文献の重複を削除

同一の文献情報をEndNoteライブラリに重複して取り込んでしまっても、[Find Duplicates]で簡単に抽出・除去することができます。

詳細：[文献情報の更新/Find Reference Update](#)

重複削除の前に、下準備と、重複抽出の設定を確認しましょう。
取得した文献情報はデータベースごとに内容が異なっていることがあります。そのため、事前に[Find Reference Update]で文献情報を更新し、統一するのがオススメです。
特にAuthor欄は表記がフルネームであったり、First Nameのみイニシャルであったりと、データ取得先によって異なることがあります。

1. 「文献情報の更新 Find Reference Update」

[Find Reference Update]を実行するには、文献を選択し、右クリックでメニューを開き、[Find Reference Update]をクリックします。

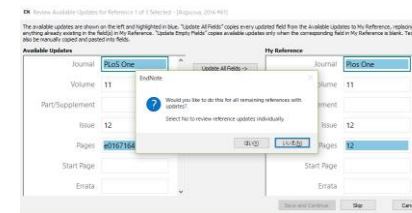
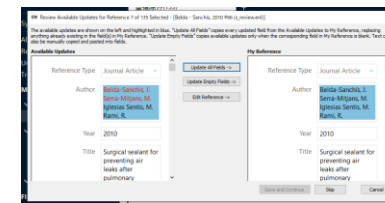
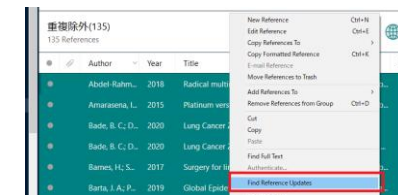
※Find Reference Updates 機能の検索先は“PubMed”と“Crossref”の2つです。
“Web of Science”（要購読契約）もご利用可能な場合は、WoSも含めて3つ検索します。

2. 更新情報が表示されるので、[Update All Fields]、または[Update Empty Fields]などを選択し、更新します。

3. 複数のレコードに対し本機能を使用した際、[Update All Fields] または [Update Empty Fields] をクリック後に現れるウィンドウで [はい](Windows) または [Yes](Macintosh) をクリックすると、選択していたすべてのレコードに対して同様の処理を行います。[いいえ] をクリックすると、次のレコードのアップデートへ進みます。[Find Reference Update]で文献情報を更新したら、重複を削除をします。



取得先が異なるため、同一文献でAuthor情報に表記ゆれがある例



重複削除の為の設定(条件設定)

「重複を抽出する為の条件設定」

詳細：<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-10.html>

1. 【Windows】

EndNote メニューバーで [Edit] → [Preferences...] の順にクリック。

【Macintosh】 EndNote メニューバーで [EndNote 20] → [Preferences...] または [Settings...] の順にクリック。

2. [EndNote Preferences] 画面で、左側のリストから [Duplicates] を選択します。

3. [Compare references based on the following fields]で、重複を判断する基準となる項目を選択します。

デフォルトでは、以下の 4 項目にチェックマークが付けられており、これら4項目が一致したレコードを重複とみなすよう設定されています。

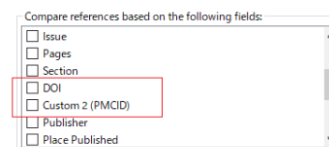
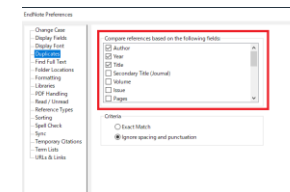
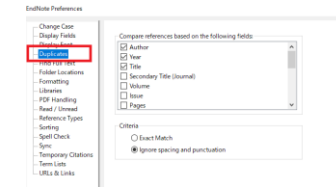
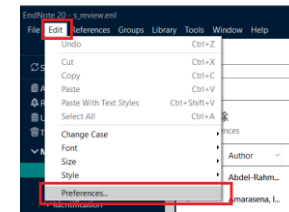
- Author
- Year
- Title
- Reference Type

注意点としては、チェックを付けた項目が多いほど厳密ですが、異なるデータベースから取得した場合はデータ内容が完全に一致しているとは限らないため、重複が見落とされる可能性があります。必要以上にチェックを付けないようにしましょう。

その他、ライブラリ内の重複抽出の漏れを無くすために一度重複削除した後、項目を変更して再度重複抽出をおこなうなど、設定を変えて複数回[Find Duplicates]をおこなって重複を抽出するやり方もあります。

例. 最初はデフォルトの4項目で重複削除した後、「Title」と「Year」のみで再度実行するなど

また、EndNote 20からはチェック項目に「DOI」、「PMCID」が追加されています。これらは文献に対する固有のIDなので、表記ゆれなど関係なく確実に重複とみなすことができます。文献情報に「DOI」や「PMCID」が入力されている場合は、これらの項目を指定すると確実に重複を抽出することが可能です。例. 「DOI」のみで重複抽出

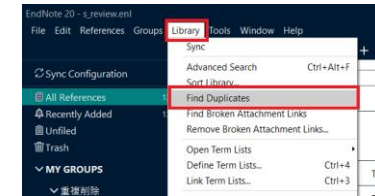


重複削除

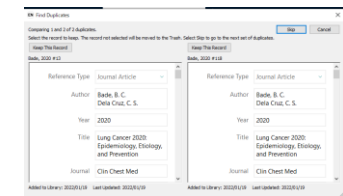
「重複を抽出して削除する Find Duplicates」

詳細: <https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/quick-reference/20/012.html>

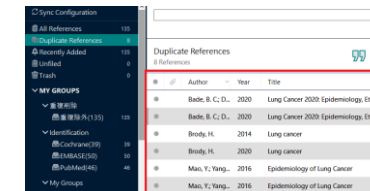
1. EndNote メニューバーで [Library] → [Find Duplicates] の順にクリックします。
※[Find Duplicates]実行前にもバックアップを作成することを推奨します。



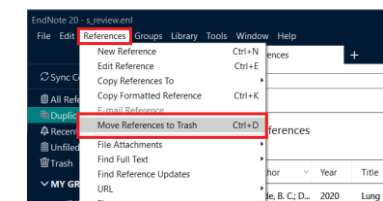
2. [Find Duplicates] 画面に、重複レコードが左右に並んで表示されます。大量の文献がある場合[Cancel]をクリックして、ウィンドウを閉じます。



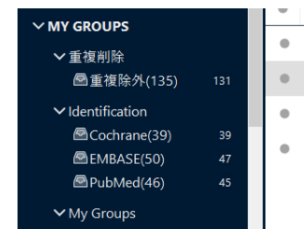
3. [Cancel] をクリックすると [Find Duplicates] 画面が閉じられ、ライブラリ画面には重複レコードが表示されます。重複しているレコードのうち、より最近ライブラリに取り込まれたレコードが反転されて表示されます。



4. EndNote メニューバーの [References] → [Move References to Trash] をクリックします。重複レコードとして反転表示されていたレコードがライブラリ画面から削除されます。



5. これで重複削除の完了です。
変更を加えるときはバックアップを作成することをオススメします。



Find Full Text機能とPDF取得時の注意点

デスクトップ版の場合

Find Full Text機能/フルテキストPDFを検索する

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/quick-reference/20/020.html>

注意点

- ・ EndNote上部にある「Edit」→「Preference」→画面左側の「Find Full Text」をクリック後、画面最下部にある「Automatically invoke Find Full Text on newly-imported references」のチェックが外れていることをご確認ください。
- ・ 一度に検索できる上限は250件ですが、

Online版の場合

EndNote Click (ブラウザ拡張機能)でフルテキストPDFを検索する

<https://www.usaco.co.jp/endnote/kopernio.html>

<https://kopernio.com/?lang=ja>

注意点

Webブラウザの「リンク先読み機能」により、利用者が意図せず、大量ダウンロード/過剰アクセスを引き起こしてしまうケースがあります。「リンク先読み機能」では、ページを閲覧中に、バックグラウンドでページ内のリンクへのアクセスが繰り返されます。そのために、本人は普通に電子リソースを利用していたつもりでも、気が付かないうちに大量ダウンロード/大量アクセスとみなされてしまいます。

ブラウザ別先読み機能停止方法（2024年10月11日確認）

Microsoft Edge

画面右上で、設定アイコン → 「設定」 -- 「Cookieとサイトのアクセス許可」を開き、「Cookieとサイトデータの管理と削除」をクリックします。「ページをプリロードして閲覧と検索を高速化する」をオフにします。

Google Chrome

画面右上で、設定アイコン → 「設定」の順にクリックします。

「パフォーマンス」を開き、「ページをプリロードする」をオフにします。

EndNote Onlineについて

(デスクトップ版とウェブ版の違い)



-USACO®
PROGRESSIVE CHANGE IS OUR WAY OF LIFE

EndNote Onlineと呼ばれるもの

3種類のonline版が存在します

※現状、basicとonlineの定義と呼称は曖昧な状態です。

① EndNote basic

- ・利用期間：期限なし
- ・価格：無償
- ・利用するには：個人でWebユーザー登録を行う

② EndNote Online (WoS導入機関)

北海道大学 附属図書館 EndNote Basic

- ・利用期間：最後に機関内IPアドレス経由でログイン後、1年間
- ・価格：Web of Scienceの機関契約に含まれている
- ・利用するには：Webでユーザー登録を行う(WoS導入機関内)

③ EndNote Web

- ・利用期間：容量無制限で利用できる期間は登録後3年間(EndNote 21より)
- ・価格：デスクトップ版に付属
- ・利用するには：デスクトップ版からWeb登録

EndNote、EndNote Online 機能比較

ユサコ株式会社				
		旧EndNote Web		
デスクトップ		デスクトップ版付属の オンラインアカウント (EndNote Online)	WoS*導入機関向け EndNote Online	無償 EndNote basic
形態	ソフトウェア	Webサービス		
利用期間	期限なし	添付容量無制限で利用で きる期間: 登録後2年間	最後に機関内IPアドレス 経由でログイン後 1年間	期限なし
利用方法				
価格	有償	デスクトップ版に 付属	WoS*契約に含まれる	無償
データの保存場所	個人PC	機関内サーバー		
利用するには	購入	デスクトップ版から アカウント登録	Webでユーザー登録 (WoS導入機関内)	Webでユーザー登録
論文作成の支援機能				
ドラッグ&ドロップでの引用	◎	×		
使用可能なスタイル数	◎ 約8,000種以上	○ 約4,000種以上		△ 21種
スタイルの追加・編集	◎	X	△ (編集は不可、 追加は管理者のみ可)	X
参考文献リストの 読者名出力制御 (フル、省略形、ビリオド有無)	◎	X		
収録レコード件数	制限なし (容量10万件)	制限なし (容量10万件)	50,000件	
文献データの取込み				
ダイレクトインポートの スタイルフォーマット数	700種以上	500種以上		4種
外部データベースの オンラインサーチ	6,000種以上	1,400種以上		4種
PDFからの書誌データ作成	○ (要DOI)	X		
PDFやファイルの管理				
ファイルの容量	◎ 制限なし	◎ 制限なし	△ (2GBまで)	
書誌データから PDF 自動ダウンロード	◎	X		
添付したPDF本文の横断検索	◎	X		
添付したPDFのリネーム	◎	X		
ユーザー間での共有				
データの共有	◎ 400名まで共有可	○ グループ単位での共有可 (※添付ファイルは除く)		
環境				
オフライン作業	○	X		
処理速度	◎	△		
インターフェース	英語	多言語対応可 (日本語も可)		
サポート				
国内サポート	国内総代理店ユサコ		Clarivate Analytics (日本法人有)	

*WoSとは Web of Science の略称で、EndNoteの開発元 Clarivate Analytics が提供している学術文献データベースです。

- EndNote Online basic [クイックレファレンスガイド](#)
- EndNote Online basic [オンラインヘルプ](#)
- EndNote Online basic [よくある質問集](#)

ご注意ください点

- 50,000件のレコード、2GBまでの添付ファイルが保存可能。
- グループセットが作成できません。(グループは作成可能)
- アウトプットスタイルは4,000～5,000種類のみ

全ての機能を使うならデスクトップ版

- デスクトップ版なら **添付容量無制限*** で全ての機能を使用できます。
(*添付容量無制限期間は原則登録後3年間です。)
- **8,000種を超えるアウトプットスタイル**、書誌情報からのPDFの自動ダウンロードや、直感的に操作できるインターフェースなどより便利な機能が搭載されています。
- **デスクトップ版はオフライン環境でも使用できる**ので、通信ができない環境でも文献を参照したり、引用が可能です。

◆ EndNote Onlineの詳細 : https://www.usaco.co.jp/endnote/endnote_web.html

ユサコの安心サポート

※海外サイト(endnote.com)から購入された方は対象外です。



-USACO®
PROGRESSIVE CHANGE IS OUR WAY OF LIFE

画面共有サポート

■ 画面共有サポートとは

- ・お客様のPCに表示されている画面をサポート担当者が一緒に確認しながら、EndNoteの操作に関する様々なお問合せにお答えするサービス。
- ・画面を共有していただくことで状況の把握がカンタンになり、従来のメールサポートよりも効率的にお問合せに対応可能
- ・Web会議システムは、Zoom、Google Meetいずれかを使用。

■ こんな方に向いています

- ・対話しながらサポートを受けたいという方
 - ・文章や口頭では伝えづらいお問合せをしたい方
- (本サポートは弊社への会員登録とシリアル番号登録済みの方が対象です。)



ご利用にはユーザー登録が必要です。

ご登録の手順はこちら：

<https://www.usaco.co.jp/endnote/registration.html>

シリアル番号の確認方法：

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/faq/44.html>

画面共有サポートお申込はこちら：

<https://www.usaco.co.jp/endnote/remote-support.html>

その他のサポート

◆ EndNoteのテクニカルサポート総合ページはこちらから
(メールによるお問い合わせ・ご注意点など)

<https://www.usaco.co.jp/endnote/inquiry.html>

EndNoteの特徴 (使い方ガイド)

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/what-is-endnote/>



FAQ (Q&A検索等)

https://www.usaco.co.jp/endnote/en_faq.html?



クイックリファレンスガイド

<https://www.usaco.co.jp/endnote/manual.html>



アウトプットスタイルの無料作成 EndNoteユーザー専用 Output Style

お探しのスタイルが見つからない場合は
テクニカルサポートへご相談ください。

弊社での代理作成も承ります。

[ユサコが作成したアウトプットスタイル一覧](#)

EndNoteの無料ウェブセミナーと活用動画

EndNoteの無料オンラインセミナーを毎月開催しています。
基本的な使い方や便利な機能を学ぶことができます。

【各ウェブセミナーの内容】

- 文献管理ソフトEndNoteでは何ができるか？3つの基本機能と基本操作をご紹介
購入を検討中の方、EndNoteの基本機能を復習したい方に適した内容のセミナーです。
- 最新版のEndNote2025へアップグレードするメリットは？
2025年5月に国内リリースされた新バージョンの新機能と便利な機能をご紹介。



詳細とご登録はQRコードまたは
<https://rs.usaco.co.jp/seminar/>
からお気軽にどうぞ。



【ユーザー向け活用動画】

- 初心・中級セミナー (Win版とMac版)

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/movie/>

ユサコのメールニュース

論文にまつわるお役立ち情報をお送りいたします。

論文作成お役立ちメールマガジンでは、当サイトで発信している論文作成に役立つ情報やユサコ株式会社が研究者向けに発信している情報をお届けします。

ぜひご登録いただき、日々の研究活動にお役立てください。

主な配信内容

- ・論文執筆コラム、お役立ち情報
- ・セミナー開催情報
- ・学会における展示のお知らせ
- ・各種キャンペーン情報
- ・新製品情報、アップグレード情報、その他最新情報

詳細とご登録はQRコードまたは
<https://rs.usaco.co.jp/mailmagazine/useful-information-for-writing-papers.html>
からお気軽にどうぞ。



無料トライアル



-USACO®
PROGRESSIVE CHANGE IS OUR WAY OF LIFE

無料トライアル

EndNoteの基本機能を30日間お試し可能(共有機能は不可)

詳細情報とお申込みは下記のURLから

<https://www.usaco.co.jp/endnote/demo.html>

トライアルで体験していただきたい3つの操作

データベースからの取り込み方法

よく利用するデータベースからどのように文献情報をインポートできるか体験してください。面倒な手入力することなく、著書やタイトルなどの文献情報をまとめてインポートすることができます。

PDFの取り込み方法

文献情報を取り込んだ後、Find Full Textを使ったり、複数のPDFファイルを一括して取り込む方法を体験してください。PDFに書き込んだメモも検索して、素早く見つけることができます。

データベースからの取り込み方法

例えばWord文書にドラック&ドロップするだけで参考文献リストを自動作成できます。直感的にリストを挿入し、ジャーナルごとのアウトプットスタイルを簡単に変更できることをご確認ください。

- ◆ EndNoteの基本機能を30日間お試しいただけます。
- ◆ トライアル版は、製品購入後プロダクトキーを入力するだけで製品版に移行できます。
- ◆ トライアル版で作成したデータは、正規製品にそのまま引き継ぐことができます。
- ◆ トライアル期間終了後はビューアーとなり、各種機能に制限が設けられます。

EndNote活用ヒント集

- A) PubMed のウェブページから文献情報を取り込む方法
<https://www.usaco.co.jp/faq/detail.html?pdid1=186>
- B) 医中誌Web から文献情報を取り込む方法
<https://www.usaco.co.jp/faq/detail.html?pdid1=97>
- C) Web of Science から文献情報を取り込む方法
<https://www.usaco.co.jp/faq/detail.html?pdid1=66>
- D) Google Scholarから取り込む方法
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/faq/69.html>
- E) 論文を分野ごとにフォルダに保存したい場合
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-01.html>
- F) 文献管理機能の詳細について
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/what-is-endnote/reference-management-2.html>
- G) 参考文献を自動で作成してくれる機能の詳細について
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/what-is-endnote/bibliography.html>
- H) 和訳を一緒に載せたい場合
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-02.html>

ご購入について

EndNoteの詳細情報はこちら

<https://www.usaco.co.jp/endnote/>

- ・ EndNoteの機能の紹介
- ・ ユーザーインタビュー
- ・ 購入前のよくあるお問い合わせ

EndNoteの個人購入はこちら(ユサコのECサイト)

<https://www2.usaco.co.jp/shop/default.aspx>

EndNoteの法人利用・グループ利用に関するお問い合わせはこちら

TO : tokyo-sales@usaco.co.jp

EndNote 2025 年末年始キャンペーンのご案内

2025年11月1日(土)~2026年1月31日(土)

Full 10% オフ

Upgrade 10% オフ

Q&A

以前、EndNoteを導入してみようと思いましたが挫折してしまいました。使い始めるためのポイントやコツを教えていただきたいと思っています。

毎月開催しているウェビナーやオンデマンドで視聴できる動画をぜひご活用ください。

クイックリファレンスガイドも活用の一助になるかと存じます。

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/quick-reference/>

PDFの保存先の指定方法について教えていただきたいです。

EndNoteにPDFに取り込むと、ライブラリ内の「.Data」フォルダ内の「PDFフォルダ」に保存されます。ファイル名は変更可能です。

このフォルダのパスは、EndNoteライブラリの保存場所によって決まります。

ライブラリデータの保存場所を確認する方法：

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/faq/308.html>

※ライブラリデータは、**ライブラリファイル (.enl)** と**データフォルダ (.Data)** の2つのファイルで構成されているため、移動やコピーの際は必ずペアで同じ場所に保存してください。

Q&A

学内インターネットから利用できるEndNoteと購入したEndNoteの機能の違いがあれば教えていただきたいです。

EndNote Onlineは誰もが無料で利用可能ですが、容量や機能が制限されています。文献を沢山読んだり、論文を定期的に書かれる方にはデスクトップ版がお勧めです。

現在は個人で購入した「EndNote」のデスクトップ版を使っていますが、大学図書館で提供されている「機関版 EndNote online」の使用も検討しています。これまでに作成した「EndNote Library」はそのまま使えますか？また、デスクトップ版とオンライン版の違いについて詳しく教えていただければありがたいです。

デスクトップ版のライブラリデータをEndNote onlineに紐づけて利用することができます。データに変更を加える度に同期をすると、デスクトップ版とEndNote onlineのデータが常に最新の同じ内容になります。

同期用ウェブアカウントの登録方法：<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-04.html>

Q&A

エンドノートを購入しましたがまだ使い方をあまり理解しておらず活用できていません。可能なら複数PCで紐付け(クラウドで管理など)の方法もあれば知りたいです。

最初に同期用のウェブアカウントを作成いただく必要があります。

EndNoteの同期機能 (Sync) を活用して、いつでもどこでも文献情報にアクセスする方法：

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-04.html>

ありがとうございました

研究を通じて、社会に貢献する。
Drive Your Research.



ユサコ株式会社は2025年6月15日に
創立75周年を迎えました。